

白馬館プロジェクト要件整理 宿泊編

<div class="company-info"> アデリープランニング株式会社
2024年10月10日 </div>

宿泊予約システム要件

1. 宿泊予約の変更機能

1.1 日付変更・人数変更

- キャンセル&リブックを避け、既存予約をシームレスに変更可能な設計。
- 利用者は「変更完了」だけを確認し、リソース管理はシステム側で自動化。

1.2 バックエンド処理

- 自動キャンセルと再予約プロセスを吸収し、予約変更に伴う手間を減らす。

2. 緊急対応とオーバーブッキング

2.1 オーバーブッキング対応

- 山小屋の特性を考慮し、予約が100%を超えても柔軟に対応するシステム設計。

2.2 避難所機能

- トラブルや体調不良により、系列宿泊施設へ移動可能とする。

2.3 リソース管理

- 食事やサービスなどのリソースを効率的に管理し、オーバーブッキング時の対応を容易に。

3. QRコードによるチェックイン・チェックアウト

3.1 QRコード対応

- 宿泊施設での迅速なチェックイン・チェックアウトをQRコードを利用して実現する。

4. 部屋料金の変更対応（固定価格体系）

4.1 シーズン料金・プラン料金の対応

- システムは設定されたシーズン料金やプラン変更に伴い、料金変更に対応。差額を自動計算し、顧客に通知する機能を持つ。ダイナミックプライシングは使用せず、設定済みの料金に基づいて対応。

4.2 差額通知と決済処理

- 料金差が発生した場合、システムは差額を顧客に通知し、クレジットカードなどを通じた決済処理を自動化。

5. 部屋タイプによる相部屋と人数制限

5.1 相部屋フラグの設定

- 部屋タイプごとに、相部屋が可能かどうかをシステムで設定可能。
 - 例: 2人部屋に対して、相部屋設定が不可の場合は相部屋を避ける。

5.2 人数制限の設定（手動変更可能）

- 部屋ごとの人数制限を設定し、収容可能人数をシステム上で制御。
 - 例: 600人収容できる大部屋を通常時は400人として設定し、直前や緊急時には手動で600人に変更可能な設定を導入。

6. レンタル機器・アクティビティ予約との連動

6.1 在庫確認とカレンダー表示

- 予約日変更時、顧客がレンタル機器やアクティビティも一緒に予約している場合、その在庫がある日をシステム上で明確に選択可能にする。

6.2 在庫不足時の確認プロセス

- 利用者の都合で在庫がない場合でも、承諾を得た上で予約変更を許可するプロセスを導入。
- **「この日は～の在庫がありませんが、変更してもよろしいですか？」**という確認メッセージを表示し、顧客の承諾を得る。

7. 在庫管理と山小屋間の融通

7.1 在庫情報の共有

- 系列山小屋間で在庫情報を共有し、リソースの利用状況をリアルタイムで確認可能にする。

7.2 リソースの融通

- 在庫が不足している場合、系列山小屋間でリソースを融通し合い、柔軟な対応を可能にする。

白馬館様に決めていただきたいこと

8.1 部屋タイプと人数制限のポリシー

- 相部屋可能な部屋と人数制限のない部屋をどう設定するか。
- 特定の部屋で相部屋を許可するかどうかの基準を決定。

8.2 予約変更ポリシー

- 予約変更の条件について、在庫が不足していても顧客のリクエストに応じるかどうか。
- 変更可能な期間（例: 宿泊予定日の5日前までなど）を設定し、システムに反映する。

8.3 在庫不足時の承諾フロー

- 在庫が不足している場合、自動で予約を拒否するのか、顧客が承諾すれば予約変更可能にするのかを決定。

8.4 山小屋間の在庫リソース融通ルール

- 系列山小屋間でのリソース融通の条件を決定。
- 在庫不足時の対応ルールを明確化（例: リソースの運搬が可能かどうか）。

エクステンション要件

9.1 Magetop Booking and Reservation (Premiumプラン)

- **機能:** 宿泊予約の変更が可能で、日付変更がキャンセル&リブックを必要とせずに実行可能。
- **複数日予約対応:** 顧客の希望日程を取得し、管理者が調整可能。また、アクティビティ仮予約にも対応。
- **料金変更対応:** 設定されたシーズン料金やプラン変更に基づく料金変更をシステムで自動計算し、差額を顧客に通知。

総括

- 白馬館様には、相部屋や人数制限、予約変更のポリシーを決定していただく必要があります。
- 在庫確認機能を強化し、在庫不足時には顧客に確認を求めるプロセスを導入。
- 系列の山小屋間での在庫共有により、リソースの融通を可能にし、運営効率を向上させます。